



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠間 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 奥田 伸一郎

TEL 048-643-7213

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,475	18.2	1,681	91.0	1,909	82.8	1,386	248.9
24年3月期第3四半期	20,712	△0.3	880	△23.5	1,044	△15.7	397	△36.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,475百万円 (617.8%) 24年3月期第3四半期 205百万円 (85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.53	—
24年3月期第3四半期	3.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	38,155	31,026	81.3
24年3月期	40,236	31,167	77.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,026百万円 24年3月期 31,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	7.1	1,500	9.1	2,000	18.0	1,100	8.9	9.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) |

25年3月期3Q	132,178,939 株	24年3月期	132,178,939 株
25年3月期3Q	16,538,689 株	24年3月期	8,535,434 株
25年3月期3Q	120,278,081 株	24年3月期3Q	122,964,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要が緒についたものの、個人消費が停滞していることに加え、長期に亘る円高トレンドや欧州経済に端を発した海外経済の混乱などを背景に、景気の減速感が急激に広がるなど依然不透明な状況が続いております。また、12月の政権交代によるデフレ脱却政策の取組みへの期待から、円安・株価上昇の動きが見られますが、依然として予断を許さない状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。時計事業は、国内では販売数量、平均販売単価とも前年よりアップし、また海外販売の売上拡大とあわせ増収となり、収益改善策や増収などの影響により増益となりました。電子事業は、情報機器分野及び自動車機器（カーロック）分野の不振により減収となりましたが、原価率の改善により増益となり、プレジジョン事業は、第1四半期に昨年の大震災により落ち込んでいた受注が回復し増収となりました。接続端子事業は、海外における販売は堅調に推移しておりますが、国内においては厳しい状況が続いております。

以上のことから、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、244億75百万円となり前年同期207億12百万円に対し18.2%の増収となりました。営業利益は、16億81百万円となり前年同期8億80百万円に対し91.0%の増益となりました。経常利益は、19億9百万円となり前年同期10億44百万円に対し82.8%の増益となりました。これらに固定資産売却益1億72百万円、法人税等7億51百万円を計上するなどした結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は13億86百万円となり前年同期3億97百万円に対し248.9%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①時計事業

クロックの国内販売は、新型の販売やギフト商品の売上が順調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。非クロックの販売は、前期に引き続き防災行政ラジオ、温湿度計、当期より販売いたしましたUSBファンの販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。海外販売は、各地域において現地代理店との販売プロモーションの実施など積極的な営業活動により、前年同期に比べ増収となりました。

以上のことから、時計事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は101億21百万円となり、前年同期90億83百万円に対し11.4%の増収となりました。営業利益は、増収効果、原価率の改善、販売コストの削減など継続的に推進しております収益改善策などにより、13億79百万円となり、前年同期8億98百万円に対し53.6%の増益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、新たな取引先の開拓のほか、グループの技術を活かした商品開発や顧客企業に企画提案を積極的に行い、業容の拡大に努めてまいりました。新事業関連での売上を伸ばしたものの、情報機器分野での競争激化の影響などにより全体では減収となりました。

以上のことから、電子事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は56億79百万円となり、前年同期57億4百万円に対し0.5%の減収となりました。営業利益は原価率の改善の影響などにより、2億13百万円となり、前年同期1億2百万円に対し109.2%の増益となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、顧客企業に積極的に企画提案を実施し、海外展開及び新規顧客開拓に注力し事業の拡大に努めております。第1四半期は東日本大震災により落ち込んでいた受注が回復し、また、タイ洪水からの復旧需要もあり増収となりましたが、第2四半期以降の受注の減少、原価悪化などにより営業損失となりました。

以上のことから、プレジジョン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は44億9百万円となり、前年同期41億64百万円に対し5.9%の増収となりました。営業損失は前年同期58百万円の損失に対し、今期53百万円の損失となりました。

④接続端子事業

接続端子事業は、海外における販売は順調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は36億84百万円、営業利益は2億79百万円となりました（前第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しているため前年同期比較は行いません）。

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億81百万円となり、前年同期5億31百万円に対し9.4%の増収となりました。営業利益は68百万円となり、前年同期45百万円に対し51.5%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は381億55百万円となり、前連結会計年度末402億36百万円に比べて20億81百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ18億87百万円減少しました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億93百万円減少しました。

(負債)

負債合計は71億28百万円となり、前連結会計年度末90億69百万円に比べて19億41百万円減少しました。流動負債は、短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べ18億56百万円減少しました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は310億26百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、自己株式の取得などにより、1億40百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月8日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,967	5,171
受取手形及び売掛金	8,874	8,148
有価証券	2,500	2,000
たな卸資産	5,670	7,061
その他	754	1,496
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	25,761	23,873
固定資産		
有形固定資産	5,395	5,365
無形固定資産		
のれん	1,636	1,508
その他	928	1,216
無形固定資産合計	2,565	2,724
投資その他の資産		
投資有価証券	4,643	4,552
その他	2,005	1,771
貸倒引当金	△134	△132
投資その他の資産合計	6,513	6,191
固定資産合計	14,474	14,281
資産合計	40,236	38,155
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,803	3,605
短期借入金	1,000	—
未払法人税等	668	480
賞与引当金	222	110
その他	1,834	1,475
流動負債合計	7,528	5,671
固定負債		
退職給付引当金	544	557
役員退職慰労引当金	30	—
その他	966	899
固定負債合計	1,541	1,456
負債合計	9,069	7,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	15,951	15,951
利益剰余金	3,915	4,993
自己株式	△1,196	△2,502
株主資本合計	31,043	30,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	431
為替換算調整勘定	△341	△219
その他の包括利益累計額合計	123	211
純資産合計	31,167	31,026
負債純資産合計	40,236	38,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	20,712	24,475
売上原価	15,110	17,340
売上総利益	5,602	7,135
販売費及び一般管理費	4,721	5,453
営業利益	880	1,681
営業外収益		
受取利息	28	15
受取配当金	104	109
受取賃貸料	164	160
信託収入	140	139
その他	47	47
営業外収益合計	484	473
営業外費用		
支払利息	15	12
出向費用	45	14
賃貸費用	61	73
信託費用	48	70
為替差損	109	24
その他	38	50
営業外費用合計	320	245
経常利益	1,044	1,909
特別利益		
固定資産売却益	2	172
保険解約返戻金	136	—
受取補償金	—	177
その他	—	6
特別利益合計	139	356
特別損失		
固定資産処分損	14	23
投資有価証券評価損	206	45
関係会社清算損	—	39
その他	2	17
特別損失合計	223	126
税金等調整前四半期純利益	960	2,138
法人税、住民税及び事業税	473	754
法人税等調整額	76	△3
法人税等合計	550	751
少数株主損益調整前四半期純利益	409	1,386
少数株主利益	12	—
四半期純利益	397	1,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	409	1,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	△33
為替換算調整勘定	△74	122
その他の包括利益合計	△204	88
四半期包括利益	205	1,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189	1,475
少数株主に係る四半期包括利益	15	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,083	5,704	4,164	1,228	20,181	531	20,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	320	373	—	722	786	1,509
計	9,111	6,025	4,538	1,228	20,904	1,318	22,222
セグメント利益又は損失(△)	898	102	△58	86	1,028	45	1,073

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△172
棚卸資産の調整額	△40
四半期連結損益計算書の営業利益	880

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社は協伸工業株式会社の株式取得及び株式交換を行い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,679百万円であります。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「接続端子事業」セグメントより発生しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,121	5,679	4,409	3,684	23,894	581	24,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	42	13	194	—	250	815	1,065
計	10,163	5,692	4,603	3,684	24,144	1,396	25,541
セグメント利益又は損失(△)	1,379	213	△53	279	1,818	68	1,887

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,818
「その他」の区分の利益	68
セグメント間取引消去	46
全社費用(注)	△251
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,681

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。